





# 概要

概要	2
重要事項	З
ツールバーの説明	4
測定条件の設定	6
全般設定	6
表示設定	7
基礎データの読み込み	8
基本配合を作成	9
修正の配合計算	
残インキの作成	
残インキの配合	
配合を手動で入力	
新規配合フォルダの作成	
配合名で検索	
最少ΔE*で配合を検索	
支持体の作成	
データベースのバックアップ	
データベースの修復	
設定:全般	
設定:配合計算	
設定:表示	
設定:外部計量器	51
設定:SPM	
設定:通信設定	
設定:ライブラリフォルダ	
設定:プリンタの設定	
設定:ワークフロー	



#### 重要事項

- 1. 本説明書では、InkFormulation 6の最も重要となる機能の概要を説明して います。
- 本書のエクササイズを通して、主な機能をよりご理解いただくことを目的としています。
- 3. 本書のエクササイズは測定器なしで実行することができます。基礎データとして使用されるインキ色は新規インストール時にインストールされます。
- 4. 画像は本バージョンの全機能が使用可能なモデルに基づいて作成されています。インストールされているバージョンによっては、メニュー項目の記号が表示されていない場合もあります。本エクササイズでは、これらの特定の機能は使用されないため影響はありません。

商標

X-Rite ColorQualityTM および X-Rite InkFormulationTM は X-Rite, Incorporated の登録

商標です。 Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Copyright 2010 by X-Rite®

All rights reserved. Duplicating, processing or translating beyond the scope of the copyright is expressly forbidden without previous written permission.



# ツールバーの説明



基本配合 新規配合を作成します。



**補正配合** 既存配合を調整します。



**配合のロード** 既存配合を検索します。



保存 現在の配合を保存します。



**分光曲線** 配合を多様なグラフィックディスプレイで表示します。



**配合結果の印刷** 現在ロードされている配合を印刷します。



**外部計量器に送信** 現在読み込まれている配合を外部計量器に送信します。



E 配合

配合値をEメールで送信します。





SPM 測定装置に接続します。



ColorQuality に切り替え

ColorQuality をロードするか、または ColorQuality と InkFormulation のアプリケーションを切り替えます。



## 測定条件の設定

#### 全般設定

- 1. [設定] → [全般] メニューをクリックします。
- 2. [全般] ウィンドウで既定の測定設定を確認してください。
- 3. [OK] をクリックして終了します。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufa	cturer 6.0 Beta - フレキリまたはグラビヤ印	刷(Pol) [SQLite - IFSte	dDb]	
ファイル(F) 配合計算(O) 配合データ(	R) CxF(C) e-レシピ データベース(B) [	設定(S) ヘルプ(H)		
		全般(G)	F9	
50		配合計算(F)	F10	
		表示(D)		
		外部計量器(B)	F12	
「▼ 使用化キ: Flexo/gravu	今般の設定	SPM(S)	F11	X
		A 10 10 10 10 10 10	a and the second	
	初期設定			
	観測光源: D50 _			
	観測視野: 2° -			
	77119-: Pol _	•		
		☑ 手動でSPI	Mからの測定を行う	
	5 ×			
	色差:	平均回数:		
	JCIE-Lab 🔄	測定回数		
	火火リス、人田の昭明:	白色ねり泊ん	ີ່ (ລຳ):	
	M1: A		X-Riteの最適冬性	
			IN NICESSAX MARTI	
	M2•  A			
	言語:			
	機能		OK(0)	======================================

注記:言語を変更した後は、InkFormulationを必ず再起動してください。



#### 表示設定

- 1. [設定] → [表示] メニューをクリックします。
- 2. [表示設定] ウィンドウで既定の設定を確認してください。
- 3. [OK] をクリックして終了します。



価格		
☞ 表示する	▼ 単位毎	
表示する少数桁:		
□ 表示する桁数		
最大色差(ΔE):	15	
データベース: 配合		
□ 現在の基礎データの配合	のみ表示	
許容		
🔽 表示する		
許容 (dE):	3	
⊿Eの公式		
⊿Eの公式:	dE	
か-表示		
ディスプレィ モード:	測定機	•
Z LCC (eRGR Calor Space	Profile)	



### 基礎データの読み込み

🚺 X-Rite InkFormula	tion Manufacturer 6.0	Beta - フレキソまたはグラビヤ印刷 (Pol	) [SQLite - IFStdDb]		= 🗆 X
ファイル(F) 配合計算(O)	) 配合データ(R) CxF(C	) e-レシピ データベース(B) 設定(S)	) ∿1⁄7°(H)		
				InkFormu	<b>&amp; x∙rite</b> lation6
● 使用心特:	基礎データを選択し	てください。			
	並べ替え:	名前	-		
	The island of the print Offset print Screen print	printing inclosed colored to ing WP Partone (No.coated) ing WP Partone (No.uncoated) ing (No.Leneta)	iements (Poille) ) ) 難択(S) ( キャンセル(C)	Flexo/gravure printing ind. c 区 成分:: Transparent white Obeque white Yellow (green) Yellow (	
心柱量:			0	終了(C)	100
seo*					

- 1. [基礎データ] 側の下向き矢印をクリックします。
- 2. 開いたデータベースから [Flexo/Gravure incl. colorant elements (Pol, Leneta)] を選択し、[選択] をクリックします。

選択された基礎データ名がメインウィンドウに表示されます。

注記: [基礎データ] は基本色材の詳細情報が含まれるデータベースを意味します。





🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキツまたはク	**予ヒ*ヤED刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]
7ァイル(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) e-レシピ データベー	-λ(B) 設定(S) ヘルプ(H)
記合計算           目標色の測定!	×rite tion6
	◆ 測定(!!) ◆ ② ColorNet (!!) ● ガラ-ライグ・ジリー ■ Labの入力
	X
○ 自動継続(1 測定値) (//量:	<< >> +y)地(C)

- 1. [配合計算 → 基本的な配合] アイコンをクリックします。
- はじめに目標色を定義する必要があります。カラーを測定せずに、 [ColorNet]、[カラーライブラリー]、[Labの入力]または [CxF] からカラ ーデータを読み込むことができます。

ColorNet はエックスライト社のさまざまなアプリケーション (InkFormulation、ColorQuality、分光測色計)間をリンクします。保存され た色は ColorNet で交換することが可能です。

色彩値として指定されたカラーデータを [Lab の入力] で入力することができま す。しかし、この目標色の指定では、分光曲線分析が InkFormulation に表示 されず、計算されたカラーデータのみが表示されます。

[**カラーライブラリ**] では、HKS または Pantone 色を支持体(コート、上質、 マット)と照明条件に応じて選択できます。(このボタンはカラーガイドライブ ラリが提供されていることを前提とします。)

CxF は、転送される色の色彩値や分光値など、全ての重要な情報含むカラーデータ交換形式です。

このエクササイズでは、ColorNet から既存色を読み込みます。

[] X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキリまた(はグラビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]	_ <b>D</b> \ X
7ァイル(F) 配合計算(O) 配合デーラ(R) CxF(C) e-レシピデーラペース(B) 設定(S) ヘルプ(H)	
この「配合計算」         22           こののPet         22           前の容易を、定前         2	<b>xrite</b> ation <b>6</b>
使用/A     使用/A	
心/4量:     CXF     お気に入り(F)     選択(S)     キャンセル(C)	

- 3. [InkFormulation] → [基礎データ] → [Flexo/gravure printing incl. colorants elements (D65, Leneta)] → [Green] → [15.0% green] を選択します。
- 4. [選択]をクリックし、目標色として読み込みます。

メインフォルダ「X-Rite ColorNet」をダブルクリックすると、ColorNet が使 用可能な全てのアプリケーションが表示されます。

<u>注記</u>: ColorNet の構成は Windows エクスプローラに似ています。フォルダをダブルクリック すると、その下のフォルダが開きます。表示されないフォルダがあれば、上部のフォルダをダブ ルクリックしてください。 5. 次に目標色の支持体タイプを定義します。このエクササイズでは [**コート**] を 選択し、[次へ(>>>)] をクリックします。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキツまたはジラビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]	_ = ×
7r/h(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) e-lシt* データペース(B) 設定(S) ヘル7*(H)	
E合計算         23           測定ラブ・かの表面を定義         23	• x-rite ation6
· 2+ 1 上開	

6. 次に、配合の支持体が表示されます。この例には [基礎データで使用した支 持体]を選択し、[次へ(>>>)]をクリックします。



<u>注記</u>:プログラムは配合計算を支持体色によって補正する必要があるため、正しい支持体情報の 入力が重要となります。 7. これでコートのインキ膜厚を変更することができます。既定の 100%を使用 し、[次へ (>>>)]をクリックします。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキソまたはガラビヤ印刷 (Pol)	[SQLite - IFStdDb]	- • ×
77fb(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) e-レシビ データベース(B) 設定(S)	Al(2* (H)	
Retri	Ξ.	1
の注意の定義		●x•rite
		ation <b>6</b>
1004121		
▼   ◀ ◀ イ/4開厚: 100	<u>→</u> %	
()4冊-	<< >> #+>tbl(0)	

注記:この設定はメニュー[設定]→[配合計算]で実行できます。配合画面にこの設定項目が表示されています。配合画面への表示はオプションとなっており、メニューから無効に設定することが可能です。

次のウィンドウでアプリケーションを選択します。

注記:このウィンドウは、現基礎データに 1 つ以上の印刷方式(プロセス)を 定義した場合のみに表示されます。

最初のボックス(すでに定義されたアプリケーション)の組み合わせを選択する か、または独自で作成してください。

8. 組み合わせを 1 つ選択し、[次へ(>>>)] をクリックして次のステップに進み ます。

x-rite

E[]扇] で	方式 / 添加物の組み合わせ 【基礎データから	:		 	_
0力	コスタムの組み合わせ: Additive A Additive C Additive B			 	
			混合比:		
				 >>> [ \$+;)	ь¶ (С

カラーオプションのウィンドウが表示されます。現在読み込まれている基礎デー タ(Flexo/gravure printing incl. Colorants elements)で使用可能な基本色 がウィンドウ左側に表示されます。

9. 二重矢印(>>>)をクリックし、全色を [利用可能なインキ] から [選択された インキ] リストに移動します。これで [選択されたインキ] リストの色で配合 が可能になります。下部の [次へ(>>>)]をクリックし、続行します。



注記:全色を選択する必要はありません。単色を選択する場合は、ダブルクリックまたはハイライト表示し、矢印右ボタン(>)をクリックして選択します。色を削除するには、[選択されたインキ]リストから対象色をハイライト表示し、左矢印ボタン(<)をクリックします。 配合に使用可能な基本色は、プログラムによって制限されている場合があります。 10. 次に調色モードを設定します。標準またはパレット調色を選択することが できます。使用可能なパレット調色はボックスに自動的に表示されます。 このウィンドウはオプションとなっています。パレット調色を使用しない 場合は、この手順が無効に設定されます。標準オプションを選択してくだ さい。

配合計算	. 22
即色モードを選択してください。	
で 標準調色	
C パレット配合計算	
選択された条件で使用可能な配合はありません。	Default 🗸
	mm配合 [dE X-Rite]
	Q 検索(K)
	<<>>>> 4#2/bl/(0)

- 11. これで、選択された分類条件を満たす計算配合が表示されます:
  - 現在の△E計算式
  - ΔE2000
  - $\Delta E CIELab$
  - 価格
  - 成分
  - X-Riteの最適条件
- 12. 希望条件をクリックします。全ての配合が自動的に分類されます。
- 13. 最初の配合をクリックしてから、[終了] をクリックして次のステップに 進みます。

long III III III	Second Second Second Second	All and a state of the state of	CONSTRUCTION OF		-			-	e xarii
	希望するレシヒ	を確認して	(ださい。						
)使用()	X-Rite?	fo de	đ,	(212	成分数	25"2540		分開条件	1
	1.62	0.09	0.09	1.50	2	0.06			
	1.31	0.06	0.06	1.67	4	0.09	日間色		
_	1.32	0.06	0.06	1.51	4	0.08	DMP.	Sec. 24.0	
	132	0.07	0.07	1.70		0.10	0	417 -47.7	
	1.35	0.00	0.00	1.79		0.11		har of a	
	1.63	0.03	0.03	2.06		0.17	-	- 33 M25	
	1.53	0.01	0.01	1.07		0.53	62.0		
	1.53	0.02	0.07	1.85	15	0.12	MCD.	A 41 - 14 - 14	
	1.54	0.02	0.02	1.82	4	0.12	9	date 0.0	
	1.54	0.02	0.02	1.80	6	0.11		dat 0.0	
	155	0.02	6.62	1.83	6	0.12		000	
	1.55	0.58	0.58	1.51	3	0.21			
	1.56	0.03	0.03	1.80	5	0.11			
	1.61	0.63	0.63	1.51	3	0.21			
	1.61	0.63	\$.63	1.51	3	0.22			
	1.71	1.02	1.02	1.51	2	0.12			
	1.00	14.64	14.84	14.84	(Q	10.00			
10								14.74	
								45 ( He/Ek)	C)

<u>注記</u>:弊社では [X-Riteの最適条件]を推奨しています。ΔE、成分数、メタメリズムなど異なる条件の組み合わせで重要度の順に表示されています。



配合計算結果はメインウィンドウに表示されます。

Z X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキソまたはグラビヤED刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]			- • ×
77代(F) 配合計算(O) 配合デーウ(R) CxF(C) e-レシビ デーウベース(B) 設定(S) ヘルブ(H)			
	InkF	ormula	<b>∢x∙rite</b> ation <b>6</b>
TECH1/F: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Fol,Leneta)	0.40		
▼ [4 4 ▶ ▶] 創(音: 1: 15.0 % (1 (日他A*~A上)/Pol)	台格	目標色 (Pol	)
Conc. Transp. white	-> 63.91 -> 0.22	0	a*= -47.7
■ Conc. Green ⊕*Additive A	-> 9.03 -> 18.00		6*= -1.4 [D50, 2*]
⊖+Additive B ⊖+Additive C	-> 1.16 -> 1.13	- 4	
Basic ink:	91.45	配合:計算	dire -0.1
a Solvent A a Solvent B	-> 4.28 -> 4.28	0	da*= 0.0
-Total:	100.00		db*= 0.0
		dE*ab:	0.1
		M1 [A]:	0.0
		iero -	
合計: ·	100	心相関厚:	100 🔺 %
		粘度:	20 🔺 s

14. 最初に表示される配合を使用する必要はありません。最初の3~4の配合 は性能を問わず差がほとんどないため、通常は2つ目または3つ目でも使 用可能です。前後の矢印を使用して選択します。





15. メインウィンドウの [**分光曲線**] アイコン 🙆 をクリックします。目標色 および配合のさまざまな比較分析が表示されます。





#### <u>CIELab 色度図:</u>



中心にある赤の「×」は目標色を表示し、青の「×」は配合色を示します。

## 3つの照明に対する白色ベース上と黒色ベース上の目標色および配合色の比較:



+分に異なる色度差△Eを持つ3つの異なる照明下(例:D65、D50、A)におけるカラーのビジュアル印象を提供します。

異なる照明テクニックにおける配合結果の表示:





#### インキ膜厚を変更した場合の反応表示:



<u>注記</u>:ウィンドウの位置は固定されていません。ウィンドウ上部のタイトルバーでマウス左側の ボタンを押しながら移動することができます。マウスボタンを押しながらウィンドウの片端を引 っ張ると、サイズを大小に調整することができます。

配合の保存:

- 16. [配合] → [保存] メニューをクリックします。
- 17. ウィンドウの配合名に [15% green] を入力し、[OK] をクリックして配合を保存します。

🙆 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレ4ソまたはがテビヤ印刷 (Pol) [SQLite -	- IFStdDb]	- • ×
7ァイル(F) 配合計算(O) 配合デーが(R) CxF(C) e-レシヒ* データヘ*ース(B) 設定(S) ヘルフ*(H)		
		<b>&amp;xrite</b> Formulation6
名前:	展色为27*11:	
15.0 % (1 (白色ベース上)/Pol)	⑦定(Ⅱ)	
▼【 作成日: 2010/10/21 00:30:43 午後	配合: 計算	目標色 (Pol)
達択(S):	L*= 74.8 a*= -47.8 b*= -1.4 [050, 2*]	12 av= -47.7 bv= -1.4 [050, 2*]
G+A3 - (陳売: - (陳売: - (東売: - (東西: - (西)))())())())())())())(	■ バレット配合	配合:計算 dL*= 0.0 da*= -0.1 db*= 0.0
		dE* <sub>ab</sub> : 0.1 W1 [A]: 0.1 f面格: ¥ 1
合計: [7459'変更(H)]	0K(0) \$+/2L(C)	()件關(學: 100 ▲ %)
		粘度: 20 ▲ s

これで計算手順が完了し、配合が保存されます。 これで印刷および配合の準備 が完了です。

## 修正の配合計算

- 1. 保存した [Green] を読み込みます。[配合] → [取得] メニューをクリックします。
- 2. 開いたウィンドウで [15% green] をダブルクリックまたはハイライト表示し、[選択] をクリックしてください。



注記: InkFormulation では 2 つの方法で色を選択できます。配合名をハイライト表示して [選択] をクリックするか、もしくは一致する配合名をダブルクリックします。



配合計算を読み込んだ後、[配合計算 → 補正配合] をクリックします。開いたウィンドウで、作成した展色サンプルを入力します。実際の使用においては、配合および印刷されたサンプルを測定します。本書のエクササイズでは、ColorNetから色を選択します。[ColorNet] をクリックしてください。



ColorNet で [InkFormulation] → [基礎データ] → [Flexo/Gravure incl. colorant elements (Pol, Leneta)] → [Green] → [10% green] を選択します。 [選択] をクリックします。





次のウィンドウに全色が選択されたカラー選択ウィンドウが表示されます。
 [次へ(>>>)]をクリックし、続行します。

X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta 271%(F) 配合計算(0) 配合すーラ(R) CxF(C) e- 日本計算	- フレヤフはたはが゙ンビヤ40時 (Pol) [SQU.ne - HFSRIDb] 4ンビ デーチベース(8) 18定(S) ヘルブ(H)	- • ×
	I択してください。 	ation6
使用/A 使用/A 使用/A A用できるかた: A目できるかた: A	□Transparent shite ● 選択された(/): ○ Conc. Opsque shite ○ Conc. Opsque shite ○ Conc. Vellow (gr) ○ Conc. Vellow	) L=- 74.8 ut=-77.7 b==-1.4 1050.2*1 dL==-0.0 da=0.1 db==-0.1 db==-0.1 db==-0.1
□ 現心4の利用	~ >> ++/	2K(C) 100 + X
	1	上演: 20 ♥v

インキの選択ウィンドウが表示された後、ソフトウェアは全ての可能な修正を計 算し、分類条件に応じて表示します。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキソ洗たはグラビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]	_ = ×
7r/M(F) 記台計算(O) 記台デー5(R) CxF(C) e-I/2t° デー5N°-2(B) 設定(S) ヘルア*(H)	
Ré計算     振望するレッビを選択してください。	xrite Ition6
★ 使用 //	) Lx= 74.8 ar= -47.7 br= -1.4 (b50, 2') dx= -0.1 dx= -0.1 0.1 0.1 Y 1
(公前: (合計:	100 <b>•</b> x
	20 🖨 s

5. [X-Rite の最適条件] の最初の配合をクリックしてから、[終了] をクリック します。



補正配合が並んで配置されます。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレイツまたは5゙ラビヤ自時( Pol) [SQLite - IFStd	Db]	= <b>D</b> X
27/4(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) e-4分だ データペース(B) 設定(S) ヘムジ(H)		
		<b>&amp;xrite</b> kFormulation6
▼ ■ ● ▶ 配合: 1: 15.0 % (1 (白色ヘ'-ス上)/Pol)	合格	目標色 (Pol)
Conc. Transp. white Conc. Green - Conc. Green - Conc. Violet - Additive A - Additive A - Additive C	-> 47.66 -> 7.96 + 3.27 -> 15.11 + 1.05 -> 0.06 + 0.03 -> 15.69 + 0.26 -> 1.01 + 0.41 -> 0.99 + 0.41	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ = = -1.4 [050, 2*] ■ = = = = = = = = = = = = =
Besic ink: j Solvent j Solvent B	88.48 + 5.43 -> - + 12.86 -> 5.76 -> 5.76	ØL*= -0.1 da*= -0.0 db*= 0.2
Total:	100.00 + 18.29	dE* <sub>#0</sub> : 0.3 ₩1 [A]: 0.2 価格: ¥ 1
	18.291	▲ 心相關學: 100 ★X
		粘度: 20

メインウィンドウで、補正量がオリジナル量の横、右側の 2 列目に表示されます。

基本・調整量の追加は [追加量加算] で行います。

6. [追加量加算] をクリックします。

これは2つの方法で実行できます。

- a) [配合:追加量加算] メニューをクリックする
- b) 配合ウィンドウ間の右マウスボタンをクリックし [追加量加算] を選択する

1ル(F) 配合計算(O) [目	记合データ(R) CxF(C) e-レシł	t° デ−タベー	ス(B) 設定(S) ヘルプ(I	⊣)				
60	新規作成(N) 呼び出し(G) 目標色の測定(M)	Ctrl+N Ctrl+O Ctrl+F						
▼ 使用心‡: Fle	保存(S) 印刷(P) がリップポードにコピー(C) 外部計量器に送信(B)	Ctrl+S Ctrl+P Ctrl+C Ctrl+D	elements (Pol,L ~ス上)/Pol)	eneta)				
Conc. Transp. Conc. Green Conc. Opaque	品質管理プログラム送信 品質管理プログラム受信		-		-> -> ->	47.66 7.96 15.11	+++	3.27 1.05
Genc. Violet Additive A Additive B Additive C	残心‡に変換(V) 残心‡の整理(I)				-> -> ->	0.06 15.69 1.01 0.99	+ + + +	0.03 0.26 0.41 0.41
Basic ink:	展色サンプルの測定 配合の書き換え(Y)	Ctrl+M	Measure current ink mix	ture	->	88.48	+ +	5.43 12.86
Solvent A	追加量加算(A)		Add additional ink guan	tity	->	5.76		
Total :	インキ量の計算(I) 反射率(E)		Calculate ink quantity Recipe output dE	;		100.00	+	18.29

注記:ポップアップウィンドウでは[追加量加算]の他にいくつかの機能を選択することができます。

補正の追加後、インキ量は 100 になります。これは [補正配合] ウィンドウで 設定した値と同じです。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキツまたはがラビヤモP刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]			- 0 X
7ァイル(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) eーレシピ データベース(B) 設定(S) ヘルプ(H)			
		ormula	•x·rite tion6
使用心柱: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Pol,Leneta)			
▼ ▼ ● ▶ ■ 配合: 15.0 % (1 (白色ペース上)/Pol)	合格	目標色 (Pol	)
Conc. Transp. white     Conc. Green     Conc. Obsque white     Conc. Violet     donc. Violet     donc. Violet     donc vi	-> 32.230 -> 7.590 -> 10.331 -> 0.059 -> 10.790 -> 0.963 -> 0.949 -> 0.949 -> 8.696	● 配合:計算	L*= 74.6 a*= -47.7 b*= -1.4 [D50, 2°] dL*= -0.1 da*= -0.0
Solvent A Solvent B	-> 3.896 -> 3.896	۲	db*= 0.2
	00.000	dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: 1西格:	0.3 0.2 ¥ 1
合計:	80	心視厚:	100 🔹 %
		粘度:	20 🗘 s

注記:補正は2つの方法で行います:

- a) 目的の色は補正量で再配合します。この場合、上記の手順を選択する必要があります。 または、
- b) すでに存在する配合されたインキ色を変更します。この場合、別途に表示された補正量で配合が示されます。この補正を行うには、「配合の補正」ウィンドウで「総インキ量」の代わりに「現在のインキ量」を選択してください。プルーフに使用された量を総インキ量から差し引きます。
- 例: 配合: 100g、プルーフの消費量 15g、 → [現在のインキ量]: 85g
- 7. [保存] アイコン 20 をクリックし、補正配合を保存します。
- 8. 開いたウィンドウで配合名を [15% green] のままにし、[OK] をクリック します。
- 9. この名前はすでに使用されているという警告メッセージが表示されます。[は い]を選択すると、オリジナルの配合が補正配合で置き換えられます。



# 残インキの作成

## 1. メニュー [データベース:残インキ]



2. [残インキの定義] ウィンドウから [新規作成] をクリックします。

並べ替え: 【名前】	
	<b>新規作成(N)</b>
	書き換え(Y)
	肖除(D)
	▶ 全選択 / 全解除
	選択: 0 中の 0
	終了(C)

残心中の定義: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Pol,Leneta)

3. このステップでは、残インキの定義が要求されます。

実際の使用においては、残インキを測定します。本エクササイズでは ColorNet から既存色を読み込みます。

4. [ColorNet] をクリックします。

X-Rite InkFormulation Manufacturer Online 6.0 Beta - フルヤ実形(ਡヴラゼヤႽルル) (Pol) [SQLite - IFStdDb]     X-Rite InkFormulation 歴史ポーマの() ロックパー オーのマーク() 目前(S) AV7(H)	_ = ×
Revolution: Flows/gravure printing incl. colorant elements (Polleneta) 並べ替え: 名前 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>&amp;×rite</b> ormulation6
支持体ホウイト上に展色された残インキを測定してください。         合格           ・ <t< th=""><th>目標(A, (Pol)) Lt- 74.6 at= -47.7 bt1.4 [050, 2*]</th></t<>	目標(A, (Pol)) Lt- 74.6 at= -47.7 bt1.4 [050, 2*]
XI 0	配合: 約4第
□ 戸 自動射铁 (1 湯定信) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	M1 [À]: 0.1 (他特: Y1) 心相関學: 100 美米
	枯度: 20 €s

5. [InkFormulation] → [基礎データ] → [Flexo/Gravure incl. colorant elements (Pol, Leneta)"] → [Green] → [1.0% Green] から目標色 [15.0% Green] を選択します。

× x·rite

6. [選択] をクリックし、目標色として読み込みます。



7. 次の手順で支持体を定義してください。[基礎データで使用した支持体]を選択し、[次へ(>>>)]をクリックします。

X-Rite InkFormulation Man     浅心+の定意: Flexo/gravure	ufacturer 6.0 Beta - 개判またはが 兆 竹印刷(Pol printing incl. colorant elements(Pol,Leneta)	SQLite - IFStdDb	_ <b>—</b> X
並べ替え: 名前	•		■ <b>⊼</b> xrite
	「「「「」」する支持体を選択してください。		prmulation6
	C. 支持体的测定	田祥、灯"点"~~~ ~~	
	○ データベースから支持体を選択	≝ Leneta (Pol) ▼	日標色 (Pol)
	◎ 基礎データで使用した支持体		6** -1.4 [050, 2*]
			配合: 計算
			da*= -0.0 db*= 0.2
		L#= 91.3 a*= -0.0	dE4: 0.3
		[050, 2*]	₩1 [Ă]: 0.2 価格: ¥1
[cht: _		80	- インキ酸厚: 100 €X
			稽/宴: 20 ♥s

8. インキ膜厚は100%です。 [次へ(>>>)]をクリックし、続行します。

X-Rite InkFormulation Mar 現心中の定義: Flexo/gravure	ufacturer 6.0 Beta - 7/47/E7:157/37/17696 (Pol) [SQUite - IFStdDb]		- • ×
並べ替え: 【名前			•x-rite
		prmula	ation6
		目標色 (Po	)     #= -74.8
	-0+100 <b>7</b> ÷		a*= -47.7 b*= -1.4 [050, 2*]
		配合: 計算 [0]	dL*= -0.1 da*= -0.0 db*= 0.2
		dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: 価格:	0.3 0.2 ¥ 1
	( ~ ) > ) \$+7±L(C) 00 =	()4.04.001 字:	100 <b>*</b> X
		粘度:	20 <b>*</b> s

<u>注記</u>:実際の使用においては支持体を測定します。これは使用する支持体が基礎データの支持体 と異なるためです。InkFormulation では、支持体色が正しく補正されるよう正確な支持体情報 を取得することが極めて重要です。



- 9. 指定フィールドに名前 [Leftover Green] を入力します。
- 10. [利用可能な量] に [100] および単位には [kg] を入力してください。
- 11. [終了]をクリックし、ウィンドウを閉じます。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer Online 6.0 Beta - フレキリまたはが タヒ ヤfの則 (Pol) [SQLite - IFStdDb]		- • X
77イル(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) eーレシピ データベース(B) 設定(S) ヘルプ(H)		
張介和の定義: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Pol,Leneta)     並べ替え: 名前     ▲		<b>&amp;x∙rite</b> ation <b>6</b>
インキのブロバティを定義してください。 合格	日擅各(P	1)
名前: Leftover <u>9-2</u> 4ズ 作成日: 2010/11/17 12:34 午後		L*= 74.6 a*= -47.7 b*= -1.4 [D50, 2*]
価格1:     0 ま     報告の濃縮度:     4       ハンラLab:     100 ま     X     0 ま       比重:     1 ま     2	配合: 計算 四	p dL*= 0.3 da*= -0.2 db*= 1.0
▼残()4として使用 不要な量: 100 📮 kg 💌	dE* <sub>mb</sub> : M1 [A]: 価格:	1.0 0.1 ¥ 1
粘度           合計:	- ○/+膜厚:	100 🔹 %
	粘度:	20 🗣 s

12. 残インキがデータベースに保存されます。[終了]をクリックしてプロセスを終了します。

残心中の定義: Flexo/gravure printing inc	. colorant elements (Pol,Leneta)	10	23
並べ替え: 名前	<b>_</b>		
🔲 \$ Leftover १-३४२	( 100.00 kg)		新規作成(N)

注記: 残インキを入力する方法はここに表記される手順だけではありません。より詳しい情報は オンラインヘルプまたはユーザーガイドをご参照ください。



# 残インキの配合

以前に定義された残インキを含めて [15.0% Green] を再計算します。

1. 保存された [15.0% Green] (**[配合] → [取得]**)をロードし、再計算([メ ニュー] -> [配合] -> [再計算]) します。

調色ワークフロー内では、残インキの使用が[インキの選択]ウィンドウから直 接有効になります。



00

PRODURE IN E

5808

<u>注記</u>:目標色と支持体が全く編集されず、配合プロセスのみを再修正する場合、常に[再計算] を使用することができます。

100



- X-Rite InkFormulation Manufa
  77(II(F) 配合計算(0 🗆 X 希望するレジビを選択してください 5 ٩ 分類条件 (-Riteの)FO 0.33 ● 使用の4: 6 目標色 0.00
  0.18
  1.64
  1.16
  1.18 L\*= 74.8 a\*= -47.7 b\*= -1.4 L\*= 74.6 a\*= -47.7 b\*= -1.4 [050, 2°] Leftover %-2.15 0.44 Total: 配合 dL\*= 0.0 da\*= 0.0 db\*= 0.0 dL\*= 0.0 da\*= 0.0 db\*= 0.0 0.0 0.0 ¥ 0 100 🔺 % 心理: 選択(S) [ キャンセル(C) 20
- 2. ΔE2000 条件に対する最初の配合を選択し、[終了] をクリックします。

3. 最大量の残インキが加えられています。これは、この Green が目標色と良く一致しているためです。

2 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレ4ソまたはジラビヤED刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]	_ • ×
77(b(F) 配合計算(O) 配合デー9(R) CxF(C) e-4/xt <sup>®</sup> デー9パース(B) 設定(S) ヘルプ(H)	
	<b>&amp;x·rite</b> InkFormulation <b>6</b>
使用化柱: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Pol,Leneta)	
【▼【【】】▶】】 配合:3: 15.0 % (1 (白色ペース上)/Pol)	合格 目標色 (Pol)
⇒ Bit.         → Bit.           ⊂ Donc. Transp. white         → Dit.           ⊂ Donc. Diack         → Dit.           ⊂ Oonc. Doace white         → Dit.           ⊂ Oonc. Doace white         → Dit.           ⇒ Additive A         → Dit.           ⇒ Additive C         → Dit.	48 10 10 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
■ Basic Ink: 98: a Solvent A → 0 a Solvent B → 0:	28 36 36 36 36 36 37 4L+= 0.1 4L+= 0.1 4L+= 0.2
Total: 100.0	
1	dE× <sub>ab</sub> : 0.3 M1 (A1: 0.2 他称: ¥0
(internet internet in	▲ イバ4課學: 100 ★ %
	粘度: 20



- 4. InkFormulation の残インキの使用は半自動のインキ量管理機能を含みます。これ は配合後に使用量を手動で承諾する必要があることを意味します。この変更を承諾 するには、[配合] メニュー項目から [残インキの整理] を選択します。
- 5. [残インキの整理] ウィンドウで、配合値に対する使用の適用前/適用後のインキ量 が表示されます。[OK] をクリックし、変更を承諾します。

(·) PCD = (·) [PC	an many car(c) con	. 1-21-3	(b) bob(5) wo (h)			
5 3	新規作成(N) 呼び出し(G) 目標色の測定(M)	Ctrl+N Ctrl+O Ctrl+F			🔊	krite
「使用()4: Fic	保存(S) 印刷(P) 例77***-**にコヒ*-(C) 外和計量器に送信(8)	Ctrl+S Ctrl+P Ctrl+C Ctrl+D	elements (Pol₅Leneta) -7⊥)/Pol)	 合格	目標色 (%)	
Leftover ターコイ DConc. Transp. Conc. Black	品質管理ブログラム送信 品質管理ブログラム受信			-> 91.49 -> 0.00 -> 0.02 -> 5.42	83	x= 74. ax= 47. bx= -1.
*Additive A *Additive C	張のキに変換(V) 現の4の整理(I)			-> 1.35 -> 0.00	<b>1</b> 100-111111	[U50, 2
Basic ink: Solvent A Solvent B Total:	展色サン <sup>7,</sup> 4の測定 配合の書き換え(Y) 追加量加算(A) 心特量の計算(!)	Ctrl+M	残心神の減量	98.28 -> 0.06 -> 0.06 .≥ 2.06		dL*= 0. da*= 0. db*= 0.
	反射率(E) 配合の詳問(F)		<b>■</b> Leftover ターコイズ <sup>*</sup> 以前の量:	100.00	dE* <sub>ab</sub> ; M1 [A]: (曲林谷:	0.3 0.2 ¥ 0
	-		使用した量:	91.49	心体障害: []	00 11:
iat:	<b>_</b>		和規重:	0.01	in the second se	•

6. 配合を保存するには、[配合] メニュー項目から [保存] を選択します。指定フィー ルドに「残インキによる 15.0%Green」を入力し、[OK] をクリックします。

2 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレ4ソまたはかラビヤ[D時] (Pol)	[SQLite - IFStdDb]	- • ×
ファ(F) 記念計算(O) 記念子・3(R) CxF(C) e-5½* データャー3(R) 認定(S)         記念書の保存 (Default)         ②前:         15-0 % (1 (白色ペ*ス上)/Pol) new         作成日:       2010/10/23         18:38:44         準択(S):         ● 「読む回知」         ● 「読む回知」	A32*(H) 東急ジッパは: ● 第定(9) 自会: 計算 ■ 1.1 (D50, 2*) ■ 1.1 (D50, 2*) (D50, 2*)	(Pol)     (Formulation6     (Formulation6
	[ <u>100</u> ]=	○4親厚: 100 よ% 粘度: 20



7. 残インキデータベースのウィンドウを再度開きます。(メニュー: [データベース]
 → [残インキ]) オリジナルの [100] が配合の使用量によって低減し、新しく [0.07] になっています。

残心中の定義: Fle	exo/gravure printing incl.	. colorant eleme	ents (Pol,Leneta	)	23
並べ替え:	名前		•		
😑 🕯 Lef	tover ፇ-ጋイス°	(	0.07 kg)	D	新規作成(N)

<u>注記</u>:インキ量の管理は必須ではなくオプションです。インキ量を管理しない場合でも全く問題 はありません。残インキ(配合に使用)は必要量が使用可能であることをユーザーが管理しなけ ればなりません。

8. 残インキ利用の配合が完了です。[終了]をクリックして終了します。



# 配合を手動で入力

この機能を使用して、InkFormulation に既存の配合を作成します。

- 1. メニュー [配合:新規作成].
- 2. 実際の使用では、配合のプルーフのみが測定されます。本書の例では、ColorNet から色を読み込みます。[新配合] ウィンドウから [ColorNet] をクリックします。



<u>注記</u>:本書のエクササイズは既存のプルーフに基づいています。 配合のみが使用可能であれば、メニュー**[配合]→[新規]→[計算]**から入力できます。配合色 は InkFormulation によって計算されます。



- 3. [InkFormulation] → [デフォルト] → [基礎データ] → [Flexo/gravure printing incl. colorants elements (D65, Leneta)] から、色材濃度が [55.0% Orange] を選択します。
- 4. [選択]をクリックし、配合する色として読み込みます。



5. この例には [現基礎データの支持体] を選択してください。[次へ(>>)] を クリックし、続行します。

新レシピ	X
印刷する支持体を選択してください。	
€ 支持体の測定	用紙,ダンボール コート 🔍
○ データベースから支持体を選択	🖹 Leneta (Pol) 💌
◎ 基礎データで使用した支持体	
	L*= 91.3 a*= -0.0
	D#= 3.3 [D50, 2°]

<u>注記</u>:実際の使用においては、配合が印刷されたオリジナルの支持体を測定することが大変重要です。



[配合の入力] ウィンドウの右上にある [配合:測定] にカラーデータと一致する カラーシェードが表示されます。

- 6. 色に [配合 Orange] と名前を付けます。
- 7. 左のリストで、使用可能な [Orange] の基礎データをダブルクリックしてく ださい。
- 8. [インキ量] フィールドに [55] を入力します。
- 9. 左のリストで、[メジューム] をダブルクリックしてください。配合ウィンド ウ右側で基礎データがメジュームに変わります。
- 10. [インキ量] フィールドに [45] を入力します。
- 11. 配合が完了しました。[終了]をクリックし、ウィンドウを閉じます。



#### 配合はメインウィンドウに表示されます。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - 7/4 (またはかまで知識 (Pol) [SQLite - IFStdDb]		l	- • ×
ファイル(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) eーレシビ データベース(B) 設定(S) ヘルブ(H)			
	<b>F</b> InkF	ormula	•x•rite tion6
使用心柱: Flexo/gravure printing incl. colorant elements (Pol,Leneta)			
▼ ▲ ▶ ▶ 配合: 55.0 % (1 (白色ベース上)/Pol)	合格	目標色 (Pol)	)
Orange Iransparent white Total:	-> 55.00 -> 45.00 100.00		L*= 63.8 a*= 59.6 b*= 99.4 [050, 2*]
		配合: 測定	
			dL*= 0.0 da*= 0.0 db*= 0.0
		dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: 価格:	0.0 0.0 ¥ 2
心理:		心相関厚:	10 🔹 %
		粘度:	20



# 新規配合フォルダの作成

作成したばかりの配合に新規配合フォルダを作成する必要があります。

- 1. [保存] アイコン 😡 をクリックするか、または [配合] および [保存] メニューを 選択します。
- 2. [配合色の保存] ウィンドウから [フォルダ] をクリックします。

名前;	展世977 1.:	
55.0 % (1 (白色ペース上)/Pol)	(11) 定照	Xri
作成日: 2010/10/23 18:55:49 午後	Re: 測定	
講択(S): ◆ <mark>Introde ●</mark> (作業2±60 <sup>+</sup> ) <b>◆ Default</b> (初次・7±1.2 <sup>-</sup> )	L** 63.8 a** 59.6 b** 99.4 [D50, 2*] 合格	目標色 (Pol)
(第考:	Finiteが配合 0-00 0-00	a*- b*- [050
		dl *- da*= db*-
	OK(0) \$+>bl(C)	dE* <sub>mh</sub> : ₩1 [ʎ]: (面枠0:
<b>里</b> :		心相關際: 10

- 3. [フォルダ] ウィンドウから [新規作成] をクリックします。
- 4. 新規フォルダ名フィールドに「**テスト配合フォルダ」**を入力し、[OK] をク リックします。

名前: 55.0 % (1 (白色ベーネ	7249° 283		∢x∙rite
作作成日: 2010/10/ 嫌((S): で 回知日本 で 回知日本 の Default 構成:	授存の7x45": Default 現在の7x45": Default 通信の11 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N) 単規作成(N)		) L== 63. a== 59. b== 88. (050, 2' dL== 0. dL== 0.
(sk)/变更(ll) 量:	/////////////////////////////////////	N1 [Ă]: (価格: (24展写:	0.0 ¥ 2
		* 粘度:	20



5. [フォルダ] ウィンドウで [テスト配合フォルダ] をハイライト表示し、[選択] をクリックします。

			1.2. IN N		
名前:	7,149"			<u> </u>	• v.rite
55.0% (I(B)@	n-4				
作成日: 2010	/10/ 現在のフォルダ:	NEW		KHormula	
	現在のフォルダ:	Default			
置択(S):	Default		Ch Reineret	00 1	
InitialIt     InitialI			*/7/2/11/02	(N)	S
<ul> <li>Default</li> </ul>			🗙 🏻 🏹 🏹	Base (rol	1
					a#= 59
篇表:					b*= 9!
			作業7,15*の	設定	[050, 1
				720, 380	
				0.5: 202	
					da#= 1
					db*=
				dt*ab:	0
tl/y'変更(H)]				価格:	Y
_			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2.(C) / c.smm.	10
堂;				1210809-	
				粘度:	20

6. [OK] をクリックし、配合を指定フォルダに保存します。

名前:		展色影疗制:		1		
55-0 % (1 (白色ペース上)/Pol)			測定(11)	0	. 🛛 🖄	
作成日: 2010/10/23 18:55:49 午後		配合: 測定		_ InkF		
簧捩(S):			L*= 83.8			
NET	(作業フォルジ)		b*= 99.4	A12		
c Default	(1991), 24891)		[050, 21]	-18	日信色 (Pol)	Las
# X.		C Milester		5.00 5.00		3.8.0 h # =
唐 1 与 *	^			0.00		[050
					配合: 測定	
						dL*=
						da*-
						db#1
						db#=
	-				dE*:	db#1
<i>40<sup></sup></i> 変更(II)]	•	OK(0)	]		dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: (#18.	db#1
4.57 夏史(11)		OK(0)	] = #+)±\$(C)		dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: 何面书音:	db#1
467 変更(III)		OK(0)	] = <del>1</del> 10001(0)	ļ	dE* <sub>mb</sub> : M1 [A]: 価格:	dp#:
452'変更(H)] 里:		OK(0)	<u>₹₩2₩4.(C)</u>		dE* <sub>ab</sub> : M1 [A]: 価格: 心相則厚:	db#:



## 配合名で検索

配合を検索する際に便利です。

- 1. [配合] メニューをクリックします。[データベース:配合] ウィンドウが表示 されます。
- 2. 一番最初に作成した [Orange] を検索します。 [検索] をクリックします。



3. 検索基準ウィンドウで、指定フィールドに [Orange] を入力してください。 配合フォルダを [Default] として表記します。[OK] をクリックします。



<u>注記</u>:検索条件を絞るためには、特定の日時や期間を入力することができます。

4. ウィンドウに配合は見つかりません。下部の [フォルダ] から [テスト] を選 択するか、または右のリストから [テスト] を選択します。



[Brown] の名前の2色がリストに表示されます。

5. [終了]をクリックし、色を選択せずにウィンドウを閉じます。



注記: 名前に「Brown」を含む全ての配合が表示されます。

# 最少ΔE\*で配合を検索

配合を作成する前によく似た配合を検索する場合に使用します。

- 1. [配合:目標色の測定] → [取得] をクリックします。[目標色の測定] -> [取 得] ウィンドウが表示されます。
- 2. 目標色を測定します。本書のエクササイズには、ColorNet からリファレン スを読み込むだけで十分です。[ColorNet] をクリックします。

Z-Rite InkFormulation Manufa	cturer 6.0 Beta - フレキソまたはグ	テビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdI	)b]		
ファイル(F) 配合計算(O) 配合データ(	R) CxF(C) e-レシt* テ*-タヘ*-	ス(B) 設定(S) ヘルプ(H)			
5 3 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	作成(N) Ctrl+N 出し(G) Ctrl+O 色の測定(M) Ctrl+F			Ink	
使用心キ:Fle         印刷 切り7	(5) Ctrl+S (P) Ctrl+P *ホ*ート*にコピー(C) Ctrl+C	elements (Pol,Leneta)			
<ul> <li>X-Rite InkFormulation Manufa</li> <li>ファイル(F) 配合計算(O) 配合データ(I</li> </ul>	cturer 6.0 Beta - フレキリまたはが R) CXF(C) e-レシピ データバー	形制(Pol) [SQLite - IFStdl 风B) 設定(S) 제7 (H)	Db]		_ = )
日標色の測定		<u>A</u> 1216			• x rite
					ation6
● 使用化			<b>\$</b>	測定(M)	
				ColorNet (N)	1) L*= 63.8
Transpar Total:			CXF	CxF	a*= 59.6 b*= 99.4 [D50, 2°]
				Labの入力	
			X		dL*= 0.0 da*= 0.0
				L*= 63.8 a*= 59.6 b*= 99.4	ub*= 0.0
					0.0 0.0 ¥ 2
☞ 自動継続	ξ (1 測定値)				
心理:			<u> </u>	*+>tell(C)	10 *%
				粘度:	20



- 3. [InkFormulation] → [デフォルト] → [Flexo/gravure printing incl. colorants elements (D65, Leneta)] から、[55.0% Orange] を選択します。
- 4. [選択] をクリックし、色を読み込みます。



5. [配合] ウィンドウが表示されます。このウィンドウで色材の選択を制限し、 望ましくない色材を配合から排除することが可能です。[次へ(>>>)] をクリ ックし、続行します。

🚺 X-Rite InkForm	nulation Manufacturer 6.0 Beta - フィ4ソまたはグラビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]	= <b>•</b> X
Kelle indem	uadon Manufacturer 0.0 Beta - JAvgzh (2017 171040 (190) 1930/tht - JISR000) [(0) 記名子→(R) CxF(C) e→(X' T→+V→(Z) 目室(S) vkT(H) 日産色の志定 [第日に使用する着色則を確決してください。 選択したが/s_4: 利用できる(/4:	***rite ation6
心4量:	■Black ■ 現(4の利用 ≪ >> 4+2枚K(C	db*= 0.0 0.0 0.0 ¥ 2
	和原	20



6. プログラムは配合データベースに変換し、全ての既存の配合を表示します。 リストには最少の色差(最少ΔE\*)から順に表示されています。

指定された配合は目標色に一致します。 プログラムは 2000 のΔE\*0.0 に応じ て計算します。

7. [検索] をクリックします。

🚺 X-Rite InkFormulation Manufacturer 6.0 Beta - フレキソまた(オグラビヤ印刷 (Pol) [SQLite - IFStdDb]		- • ×
ファイル(F) 配合計算(O) 配合データ(R) CxF(C) e-レシヒ゜ データペース(B) 設定(S) ヘルプ(H)		
日標色の激定 希望するレシビを選択してください。		•xrite tion6
● dE X-Rite= 0.0 55.0 % (1 (白色ヘ'-ス上)/Pol) ● dE X-Rite= 0.0 55.0 % (1 (白色ヘ'-ス上)/Pol) ● Drange ● Transpar ● Total:	▼   :  :tte] ▼   :  漆(K)	) L*= 63.8 a*= 59.6 b*= 99.4 [D50, 2*] dL*= 0.0 da*= 0.0 db*= 0.0 0.0 0.0 ¥ 2
()#量: 《 終了 [	キャンセル(C)	10 🐳 %
	粘度:	20

8. フォルダの配合表示リストから [全フォルダ]を選択します。

名前:	*
備考:	*
日付期間(年- 5から): 1993/01/01 まで	2010/10/23
Pylly'の配合を表示:	全フォレダ
基礎データの配合を表示: アブリケーション 記合と色材を表示:	tmFlexo/gravure printing マ 全色材
記合と支持体を表示:	
残り相合のみ表示	
= パレット配合だけを示しなさい	

注記: [検索条件] のウィンドウで検索する範囲を制限/拡大することができます。

- 現在のフォルダの配合
- 現基礎データ/全基礎データに対する全フォルダの配合
- 含まれる色材だけによる配合(1つの基礎データに制限)
- 支持体に関連する配合
- 残インキおよび基本配合のみ



9. 検索条件が増えたため、全てのフォルダからいくつかの配合が表示されています。[キャンセル]をクリックし、ウィンドウを閉じます。





# 支持体の作成

決まった支持体を頻繁に使用する場合は、データベースに保存することが可能です。

毎回測定を行わずに、データベースから配合プロセスを読み込むことができます。

- 1. [**データベース:支持体**]をクリックします。[データベース:支持体] ウィンドウが表示されます。
- 2. [新規作成] をクリックします。



3. [Own substrate] を指定フィールドに入力してください。

名前の他に、支持体のタイプや品質、さらには粗さ(上質紙の支持体のみ)の情報も指定することができます。

- 4. [支持体の品質] リストに [コート] を選択します。
- 5. 実際の使用においては支持体を測定します。本書のエクササイズでは、 ColorNet から支持体を読み込みます。[ColorNet] をクリックします。

名前:				(1)(S2(M))
NEW			W L	NULL (#)
作成日:	2010/10/23	19:07:16 午後	<b>W</b>	Joiornet(N)
(備考:				
		* ·		
8		*		
<i>a</i>		C		
-				#±36(0)
支持体の9イク*:		用紙,ダンル゙ール,不透明フィルム •		8194(0)
支持体の品質:		• 4-0		
粗さ:		0 1		

6. [InkFormulation] → [デフォルト] → [基礎データ] → [Flexo/gravure printing incl. colorants elements (D65, Leneta)] から、[支持体:白色 ベース] を選択します。

x vrite

- 7. [選択] をクリックし、支持体を [Own Substrate] に読み込みます。
- 8. 黒色支持体上の測定には、このプロセスを繰り返してください。

IDAD			×rit
亚小香木:  名前 つX-Rite ColorNet 東持体: 黒色パース	▼ 「 「 情報(F)		ation
□Inkhormulation ○SQLite - IFStdDb (C:/Us ●基礎行一)	ED時(P) 合格	目標色 (Po	0
Black Blue (green) Orceen Oueftover 7-342	▶ (金猫択/金麻醉) 0.00	-	L*= 6: a*= 5: b*= 9: [050, 1
Chaque white Chaque white Chaque white Red (sed un) Pransparent white Violet Violet		配合:測定	dL#= da#= db#=
Yellow (cred) Yellow (red) T m to the first term term term term term term term ter	<ul> <li>選択: 2 中の 1</li> </ul>	dE* <sub>mb</sub> : MI [A]: 1曲相合:	0 0 ¥
CXF (防気に入り (F)	選択(S) 4+50%(C)	C CALMER.	10 1
	0K(0) 1+2tk(c)	1,400001	



9. 支持体の入力に [OK] をクリックして終了します。



新規支持体が他の支持体と共にリストに表示されます。ウィンドウを閉じると、支持体の測定は完了します。

今後の参照用として支持体の情報がデータベースに使用可能となったら、[データベースから支持体を選択]で希望する支持体を選択することが可能です。



<u>注記</u>:保存された支持体は、使用する支持体と同じ値を保証する必要があります。使用する支持体の品質に変動がある場合は、印刷する支持体を毎回測定してください。そうでない場合、配合に対する不正確な情報が生じる恐れがあります。



## データベースのバックアップ

- 1. [**ファイル**: **データベース**: **バックアップ**] をクリックします。バックアップ データベースの書き出しウィンドウが表示されます。
- このエクササイズでは、デスクトップに作成します。バックアップにはデフ ォルト名「dbif.ifbx」をご使用ください。
- 3. [保存] をクリックします。全データ(配合、基礎データ、支持体など)が 1 つのファイルに保存されます。



<u>注記</u>:通常は、条件に応じてバックアップ名を作成することができます。 安全性を維持するために、バックアップファイルは外部の場所や、バックアップが定期的に行わ れるネットワークドライブに保存してください。バックアップは定期的(毎週など)に行ってく ださい。



## データベースの修復

- 1. [ファイル:データベース:修復]をクリックします。バックアップデータベースの読み込みウィンドウが表示されます。
- 保存したばかりのバックアップ(dbif.ifbx)をハイライト表示し、[開く]を クリックします。

7°-9∿*-λ(D)	► R*99797*(B)		~		
設定の保存(5)	武动达动(R)	ž 🖂 🖙 (	Cal.	$\sim$	
ColorQuality に切り替え			🙂 Inki		
終了(C)	Alt+F4				
▼ 12用124: Flexo/gra	vure printing incl. colorant elements (F	ol.Leneta)			
	配合: 55.0 % (1 (白色ベース上)/Pol)		合格	目標色 (Pol)	
		-	55.00		Lat 6
□ Transparent white		Ĺ	<u>53</u> 00		a*= 5 b*= 9
Total :	ファイルの場所(D: )) X-Rite	• ÷ ⊡ ↔ 🗊 •	00		[D50,
	名前	更新日時	8:1	和2会· 101字	
	UserAdministrator	2010/10/18 0:48	77.	oues mac	dL+=
	D dbif.ifbx	2010/10/23 19:10	nkF		da¥= db*=
			-		
	77/1/名(N): @ifi/@x	(O)		dL* <sub>ab</sub> :	0
	ファイルの種類(T): Ink Formulation のパックアップ	*(*.ifbx) * キャンセル	- I	M1 [A]: (本語:	0
	,			illing -	•
				ALCONTRA D	0 14
				21 24 H M L X C	

3. [データベースを修復] ウィンドウで [**データベースの上書き**] を選択します。 上書きの警告メッセージを確認し、[OK] をクリックします。



注記: [データベースの上書き] は既存のデータベースを上書きする時のみに選択してください。

[データベースに追加]のオプションは、最終バックアップ以降の新規データを既存データに追加 します。既存データは変更されません。

エクササイズはこれで終わりです。 次のページでは全般の設定について説明しています。



#### 設定:全般

- 1. [設定:全般] をクリックします。
  - a. 観察光源および観察者視野角の変更が可能です。フィルタオプションは、新しい基礎データを作成する際に決定されます。作成された 基礎データに応じて、フィルタに自動的に適用されます。
  - b. カラースケール:ここでは [CIE-Lab] と [CIE-LCh] を切り替え ることができます。値はメインウィンドウに表示されます。
  - c. メタメリズム用の照明:上記で表記された設定で、メタメリズムは [warm] (yellowish [A]) および [cold] (bluish [UV の一部と F11] に表示されています。これは通常の設定です。
  - d. 平均測定:同種のインキ塗膜には 1 回の測定で十分です。インキ 塗膜が壊れていたり不安定であれば、2、3 回以上の測定を実行し てください。
- [キャンセル]をクリックし、設定変更を保存せずにウィンドウを終了するか、
   または [OK]をクリックし、ウィンドウを終了および設定変更を保存します。

全般の設定	<u> </u>
初期設定 観測光源: D50 ▼ 観測視野: 2° ▼ 2ィルタ-: Pol ▼	
	☞ 手動でSPMからの測定を行う
色差: CIE-Lab  ▼	平均回数: 測定回数 1 🛶 回
メタバス <sup>*</sup> ム田の照明: M1: A ・ M2: A ・	白色キャリアルイジョン: X-Riteの最適条件 ・
言語: Japanese	
機能	OK(0) \$+72\$(C)

### 設定:配合計算

- 1. [設定:配合計算]をクリックします。
  - a. 新配合: [追加量加算] モードでは、補正量がメインメニューの 2 列目に表示されます。[ベーシックな配合モード] では、補正量が 基本配合量に即座に追加されます。
  - b. 配合出力:使用可能なオプションは印刷プロセスとインストールさ れたモジュールによって異なります。例:[印刷用インキ]、[基礎 材料]
  - c. 不透明度: [なし(カラーの最適化のみ)] が通常の設定です。他の設定を使用する必要があるのは、一部的または完全に不透明度な色、および白色と黒色ベースで作成された関連基礎データです。
  - d. インキ膜厚(インキのキャリブレーション = 100%):キャリブレーションのパーセンテージと実際の印刷プロセスにインキ膜厚に 差がある場合、パーセンテージの値を調整することができます。
  - e. さらに配合プロセスのいくつかの手順を OFF にすることができま す。例えば、[インキの選択] ウィンドウを無効に設定します。
- 2. [キャンセル] をクリックし、設定変更を保存せずにウィンドウを終了するか、 または [OK] をクリックし、ウィンドウを終了および設定変更を保存します。

記合の補正:		
道力モート 🤄	] 最大:	400 🔦 %
記合の出力:		
印刷用心中	]	
不透明度の調整:	1	
小透明度の調整なし(カァーマッチの∂_▼		
ツキ膜厚(イノキ データベース = 100%):- 良い。	是士.	100 🛋 %
	#2/\·	
全ての組み合わせを使用   ablこよる公式計算		
12001 C 0 24 2 /01 94		
		OK(0) キャンセル(



## 設定:表示

- 1. [設定:表示]をクリックします。
  - a. 配合出力: [表示する少数桁] は、メインウィンドウおよび印刷す る配合に使用する少数桁数を定義します。[最大色差] は、配合が 表示される最大の色差範囲を指定します。
  - b. データベース:配合:このオプションが有効に設定されると、現基 礎データのみが配合データベースに表示されます。
  - c. 許容:この設定は色差(ΔE)の許容範囲を変更します。色空間の 表示では、この許容範囲がグレーの円形で表示されています。
  - d. ΔE\*計算式: 使用するΔE\*計算式を選択します。
- 2. [キャンセル] をクリックし、設定変更を保存せずにウィンドウを終了するか、 または [OK] をクリックし、ウィンドウを終了および設定変更を保存します。

長示の設定		×
/π+5		
1016		
☑ 表示する	▶ 単位毎	
┌表示する少数桁: ───		
□ 表示する桁数		
最大色差(△E):	15 🗘	
_データベース: 配合		
□ 現在の基礎が〜りの配合	のみ表示	
_許容		
☑ 表示する		
許容 (dE):	3 🜩	
-⊿Eの公式		
⊿Eの公式:	dE	
表示		
ディスプレイ モード:	測定機	-
▼ ICC (sRGB Color Space	Profile)	
	OK(0)	\$+>>tell(C)



## 設定:外部計量器

このウィンドウで、外部計量器の接続を定義します。

1. [設定:外部計量器]をクリックします。

	)通択された外部活工業語:	書き換え(Y)
Concernel Exteriore Server - Setz Coloritatic Datacolor Fluid Fluid Fluid Fluid Colorizo Fluid Colorizo Fluid Colorizo Fluid Colorizo Fluid		

- 2. [利用できる外部計量器] から [Universal Batching System] を選択し、右 向き矢印(>)をクリックします。
- 3. システムをハイライト表示し、[書き換え]をクリックします。
- 4. このウィンドウでは、配合の出力と成分の順序を変更します。
- 5. [**設定**] をクリックします。

外部計量器の変更	X
- 外部計量器名: Universal Batching System (1)	
<ul> <li>配合の出力:</li> <li>の印刷用ひれ</li> <li>ヘ<sup>*</sup> - シックひちとつれへ<sup>*</sup>ント</li> <li>基礎材料</li> </ul>	单位:
- メジューム: ● 常に最初 ● 常に最後	
○成分: ○ 量の多い物から計量する ○ 量の少ない物から計量する	
	OK(0) \$+>bl(C)



6. 配合のアウトプット先を指定してください。

外部計量器の変更
外部計量器名:
Universal Batching System (1)
配合のためのアウトプットファイル:
GRAM FILES¥X-RITE¥INKFORMULATION6¥scales¥Uni1.rez

7. [キャンセル]をクリックし、設定を変更せずにウィンドウを閉じます。



## 設定:SPM

この設定ウィンドウで、接続された測定装置の検索およびキャリブレーションを 行います。また、シリアルインターフェース(COM)を選択したり、ボーレー トを設定します。ウィンドウ下部に接続装置の情報(シリアルナンバー、ソフト ウェアのバージョン)が表示されます。

- 1. [設定:SPM] をクリックします。
- 2. [終了]をクリックしてウィンドウを終了します。

則定装置 ————				
X-Rite		-		1927R(N)
				データベース接続解除
SpectroEye, Spectro	lino	-	0	[[] 情報(F)
°-h:			4	設定(T)
COM1		<b>_</b>		キャリフドレイション
փ՝ −レ−Ւ:		•		
□ 最大速度				Sa v.rit
				ectroServer
シリアルナンハペー:	?			
15kd - 205 (18) - 205 - 204	2			

注記:X-Rite だけでなく、他社製装置もサポートされています。装置名はウィンドウに選択されています。



## 設定:通信設定

このウィンドウで、InkFormulation を ColorQuality に接続します。送信データの入力および出力パスを定義することもできます。

通信設定	<u> </u>
☞ メールシステム Microsoft Outlook	
ColorQualityとの通信 ジョブの入力パス ジョブの出力パス	
▼ ColorQualityの開始 ■ 品質管理プログラ4送信	CxF 3 (ColorQuality 6.0) 💌 OK(O) キャンセル(C)



# 設定:ライブラリフォルダ

このウィンドウで、配合フォルダを書込み禁止にすることができます。これで、 保護されたフォルダに配合を誤って保存することを防ぎます。

- 1. 配合フォルダをハイライト表示します。
- 2. [ロック] をクリックします。ボタンが [アンロック] に変わり、フォルダが 赤の鍵のアイコンで表記されます。

5(7° 5U 7ak9°	X
Default	<b>D D /</b>
	新規作成(N)
	X [削除(D)]



# 設定:プリンタの設定

このウィンドウで、印刷レイアウトを作成、編集、削除します。 レイアウトのディレクトリを定義することも可能です。

レ <b>ボートレイアウト</b> レイアウトディレクトリ(公開)	-	<u> </u>
c:¥Users¥Public¥Documents¥X-Rite¥Reports¥	D	既存から新規作成
レイアウト	•	[ータベースにコピ]
IsRecipe A4		書き換え(Y)
		名前の変更
		肖啡(D)
		終了(C)

注記:より詳しい情報はオンラインヘルプまたはユーザーガイドをご参照ください。



# 設定:ワークフロー

設定ワークフローウィンドウでは、配合ウィザードの各ウィンドウを無効に設定 することができます。常に同じ厚さ、分類条件、インキが使用される場合は、こ れらのウィンドウを無効に設定できます。

パレット配合:チェックボックスにチェックを入れて、配合モードを切り替えま す。

<u>7-770-</u>
┌調色ワークフロー――――
▶ 配合計算の前に心相関を選択
☞ 配合計算の前に心理扱をする。
▼ ハ°レット配合計算
バレット調色のレシビ: 選択されたアプリケーションのみ ▼
▼ 配合の選択
並べ替え: X-Riteの最適条件
目標色の測定 ▼ 'パレット配合'と'目標色の測定'でわれの選択を行う ▼ 支持体選択
OK(0) キャンセル(C)

